

印旛沼流域における雨水浸透施設及び雨水貯留施設 の設置を推進するためのルール

(略称:印旛沼ルール)

平成 24 年 7 月
印旛沼流域水循環健全化会議

印旛沼流域における雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置を推進するためのルール

(前文)

印旛沼は、「恵みの沼」として、印旛沼に関わる全ての人たちの心の拠り所であり、財産であり、命の水の源でもあります。

残念ながら今日の印旛沼は、近年の急激な都市化による生活環境の変化や社会経済活動等の影響により、水質が悪化し、生物多様性も損なわれており、良好な状態であるとは言えません。そこで、印旛沼流域水循環健全化会議では、2010(平成 22)年 1 月に印旛沼流域水循環健全化計画を策定し、“恵みの沼をふたたび”を基本理念に様々な取組を行っているところです。

印旛沼流域の水循環は、高度経済成長期から急激に都市化が進み土地利用が変化したことに伴い変化しました。地表面がアスファルトやコンクリートで覆われたため、地下浸透が少なくなり湧水が減り、平水時の河川流量が減少するとともに、降雨時の表面流出水が増加し、道路冠水等の水害の危険性が高まっています。また、降雨時に市街地から流出する汚濁負荷は、印旛沼の水質汚濁の原因の一つとなっています。

そこで、印旛沼流域水循環健全化会議は、変化させてしまったかつての水循環を取り戻し、この恵みの沼・印旛沼を後世に引き継いでいくために、印旛沼に関わる全ての人たちと手を携え、全力を挙げて印旛沼・流域の再生を図ることを決意し、この「印旛沼流域における雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置を推進するためのルール（以下「本ルール」という。）」を作成します。

なお、本ルールは、強制するものではなく、関係者が自発的に取り組むことを期待するものです。

(目的)

第 1 条 本ルールは、印旛沼流域水循環健全化計画で重点的に取り組む対策群として定める「雨水を地下に浸透させます」及び「水害から街や交通機関を守ります」を促進させるため、雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置を推進し、印旛沼流域での湧水量の増加及び集中した雨水の流出抑制を図ることを目的とします。

(適用範囲)

第 2 条 本ルールの適用範囲は、印旛沼流域とします。

(定義)

第 3 条 本ルールにおいて、次に掲げる用語の定義を、次の各号に定めます。

- (1) 印旛沼：千葉県成田市、佐倉市、八千代市、印西市、印旛郡酒々井町及び同郡栄町にまたがる湖沼
- (2) 流域市町：千葉市、船橋市、成田市、佐倉市、八千代市、鎌ケ谷市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡酒々井町及び同郡栄町
- (3) 行政機関：千葉県庁、流域市役所及び流域町役場の関係部署。ただし建築確認審査機関を除く。
- (4) 印旛沼流域：別表 1 に掲げる地域（管渠等により印旛沼に排水が流入する地域を含む。）
- (5) 流域住民等：印旛沼流域内に住所を有する者及び同流域内に建築物を所有する者
- (6) 印旛沼流域水循環健全化会議：印旛沼・流域の再生に向けて、2010(平成 22)年 1 月に策定された「印旛沼流域水循環健全化計画」に従い、流域関係者の連携・協働のもとに着実に計画を推進するために、市民団体、学識者、水利用者及び行政機関で構成された会議（以下「健全化会議」という。）
- (7) 建築物：建築基準法第二条第一号の建築物（土地に定着する工作物のうち、屋根及び柱若しくは壁を有するもの（これに類する構造のものを含む。）、これに附属する門若しくは塀、観覧のための工作物又は地下若しくは高架の工作物内に設ける事務所、店舗、興行場、倉庫その他これらに類する施設（鉄道及び軌道の線路敷地内の運転保安に関する施設並びに跨線橋、プラットホームの上家、貯蔵槽その他これらに類する施設を除く。）をいい、建築設備を含むものとする。）
- (8) 雨水浸透施設：雨水浸透マス、雨水浸透トレンチ、透水性舗装その他雨水を地下へ浸透させるための施設
- (9) 雨水貯留施設：雨水貯留タンクその他雨水を一時的に貯留するための施設
- (10) 浸透施設設置禁止区域：別表 2 に示す急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害警戒区域及び土砂災害

特別警戒区域その他法令等により浸透施設の設置に適さない区域

- (11) 建築：建築基準法第二条第十三号の建築（建築物を新築し、増築し、改築し、又は移転することをいう。）
- (12) 建築主：建築基準法第二条第十六号の建築主（建築物に関する工事の請負契約の注文者又は請負契約によらないで自らその工事をする者をいう。）
- (13) 建築関連業者：建物設計者、施工者、不動産取引業者その他の建築に係わるすべての者
- (14) 特定行政庁：建築基準法第二条第三十五号の特定行政庁（建築主事を置く市町村の区域については当該市町村の長をいい、その他の市町村の区域については都道府県知事をいう。ただし、第九十七条の二第一項又は第九十七条の三第一項の規定により建築主事を置く市町村の区域内の政令で定める建築物については、都道府県知事とする。）
- (15) 指定確認検査機関：建築基準法第七十七条の十八から第七十七条の二十一までの規定の定めるところにより国土交通大臣又は都道府県知事が指定した者
- (16) 建築確認審査機関：特定行政庁及び指定確認検査機関

（健全化会議の役割）

第4条 健全化会議は、印旛沼流域の湧水量の増加及び雨水の流出を抑制するために、雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置を推進する取組を定め、方針を示します。

- 2 健全化会議は、印旛沼流域の湧水量の増加及び雨水の流出を抑制するために、雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置が円滑に推進されるよう、行政機関、流域住民等、建築主、建築関連業者及び指定確認検査機関間の総合調整に努めます。
- 3 健全化会議は、雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置の推進に向けて、流域住民等、建築主、建築関連業者、指定確認検査機関の理解を深めるための啓発活動を行います。
- 4 健全化会議は、別表2に示す「雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置方法等」の内容を適宜更新していきます。

（行政機関の取組内容）

第5条 行政機関の取り組む内容を、次の各号に示します。

- (1) 第1条の目的を達成するため、健全化会議が実施する取組に協力すること。
- (2) 雨水浸透施設を設置すること。ただし、別表2に示す浸透施設設置禁止区域を除く。
- (3) 雨水貯留施設を設置すること。
- (4) 雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置の推進に向けて、流域住民等、建築主、建築関連業者、指定確認検査機関へ啓発活動を行うこと。

（流域住民等及び建築主に協力いただく取組）

第6条 流域住民等及び建築主に協力いただく取組内容を次の各号に示します。

- (1) 第1条の目的を達成するため、健全化会議が実施する取組に協力すること。
- (2) 雨水浸透施設を設置すること。ただし、別表2に示す浸透施設設置禁止区域を除く。
- (3) 雨水貯留施設を設置すること。

（建築関連業者に協力いただく取組）

第7条 建築関連業者に協力いただく取組内容を次の各号に示します。

- (1) 第1条の目的を達成するため、健全化会議が実施する取組に協力すること。
- (2) 印旛沼流域内の土地売買を仲介する際、本ルール適用範囲であることを提示すること。
- (3) 印旛沼流域内で建築の依頼を受け実施する際、建築主へ雨水浸透施設及び雨水貯留施設設置を勧誘すること。
- (4) 別表2に示す設置方法に沿う方法で、雨水浸透施設及び雨水貯留施設を設置すること。

（建築確認審査機関に協力いただく取組）

第8条 建築確認審査機関に協力いただく内容を次の各号に示します。

- (1) 第1条の目的を達成するため、健全化会議が実施する取組に協力すること。

- (2) 雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置の推進に向けて、建築主及び建築関連業者へ啓発活動を行うこと。

(雨水浸透施設及び雨水貯留施設の管理者に協力いただく取組)

第9条 雨水浸透施設及び雨水貯留施設の管理者に協力いただく取組を次の各号に示します。

- (1) 雨水浸透施設及び雨水貯留施設の機能を良好に保つため、定期的な点検を行うこと。
- (2) 年1回以上の頻度での雨水浸透施設及び雨水貯留施設内を清掃すること。

附 則

(適用開始期日)

本ルールは、平成24年7月12日から施行する。

別 表 1

| 市区町村 | | 丁字 |
|------|-----|---|
| 千葉市 | 若葉区 | 下泉町,下田町,金親町,古泉町,御成台1丁目,御成台2丁目,御成台3丁目,御成台4丁目,御殿町,更科町,高根町,若松台1丁目,若松台2丁目,若松台3丁目,若松町,小間子町,小倉町,上泉町,西都賀5丁目,千城台東2丁目,千城台東3丁目,千城台東4丁目,大井戸町,谷当町,旦谷町,中田町,中野町,富田町,北谷津町,野呂町,和泉町 |
| | 緑区 | あすみが丘1丁目,あすみが丘2丁目,あすみが丘3丁目,あすみが丘東1丁目,あすみが丘東2丁目,あすみが丘東3丁目,あすみが丘東4丁目,下大和田町,高津戸町,高田町,上大和田町,大高町,平川町 |
| 船橋市 | | みやぎ台1丁目,みやぎ台2丁目,みやぎ台3丁目,みやぎ台4丁目,金堀町,古和釜町,高根台1丁目,高根台2丁目,高根台3丁目,高根台4丁目,高根台5丁目,高根台6丁目,高野台1丁目,高野台2丁目,高野台3丁目,高野台4丁目,高野台5丁目,咲が丘1丁目,咲が丘2丁目,咲が丘3丁目,咲が丘4丁目,三咲1丁目,三咲2丁目,三咲3丁目,三咲4丁目,三咲5丁目,三咲6丁目,三咲7丁目,三咲8丁目,三咲9丁目,三咲町,車方町,習志野台1丁目,習志野台2丁目,習志野台3丁目,習志野台4丁目,習志野台5丁目,習志野台6丁目,習志野台7丁目,習志野台8丁目,小室町,小野田町,松が丘1丁目,松が丘2丁目,松が丘3丁目,松が丘4丁目,松が丘5丁目,新高根3丁目,新高根4丁目,神保町,大穴町,大穴南1丁目,大穴南2丁目,大穴南3丁目,大穴南4丁目,大穴南5丁目,大穴北1丁目,大穴北2丁目,大穴北3丁目,大穴北4丁目,大穴北5丁目,大穴北6丁目,大穴北7丁目,大穴北8丁目,大神保町,坪井町,坪井東1丁目,坪井東2丁目,坪井東3丁目,坪井東4丁目,坪井東5丁目,坪井東6丁目,坪井西1丁目,坪井西2丁目,南三咲1丁目,南三咲2丁目,南三咲3丁目,南三咲4丁目,楠が山町,二和西4丁目,二和西6丁目,二和東1丁目,二和東5丁目,二和東6丁目,八木が谷1丁目,八木が谷2丁目,八木が谷3丁目,八木が谷4丁目,八木が谷5丁目,八木が谷町,豊富町,鈴身町 |
| 成田市 | | 下方,加良部5丁目,加良部6丁目,橋賀台1丁目,橋賀台2丁目,橋賀台3丁目,吾妻1丁目,吾妻2丁目,吾妻3丁目,公津の杜1丁目,公津の杜2丁目,公津の杜3丁目,公津の杜4丁目,公津の杜5丁目,公津の杜6丁目,江弁須,宗吾1丁目,宗吾2丁目,宗吾3丁目,宗吾4丁目,松崎,上福田,赤坂2丁目,赤坂3丁目,船形,台方,大袋,大竹,八代,飯仲,飯田町,並木町,北須賀,はなのき台1丁目,はなのき台2丁目,はなのき台3丁目 |
| 佐倉市 | | ユーカリが丘1丁目,ユーカリが丘2丁目,ユーカリが丘3丁目,ユーカリが丘4丁目,ユーカリが丘5丁目,ユーカリが丘6丁目,ユーカリが丘7丁目,西ユーカリが丘1丁目,西ユーカ |

| 市区町村 | 丁字 |
|------|---|
| | <p>リが丘 2 丁目,西ユーカリが丘 3 丁目,西ユーカリが丘 4 丁目,西ユーカリが丘 5 丁目,井野,井野町,稲荷台 1 丁目,稲荷台 2 丁目,稲荷台 3 丁目,稲荷台 4 丁目,印南,羽鳥,臼井,臼井台,臼井台干拓,臼井田,瓜坪新田,栄町,王子台 1 丁目,王子台 2 丁目,王子台 3 丁目,王子台 4 丁目,王子台 5 丁目,王子台 6 丁目,下根,下志津,下志津原,下勝田,海隣寺町,角来,寒風,岩富,岩富町,岩名,吉見,宮ノ台 1 丁目,宮ノ台 2 丁目,宮ノ台 3 丁目,宮ノ台 4 丁目,宮ノ台 5 丁目,宮ノ台 6 丁目,宮小路町,宮前 1 丁目,宮前 2 丁目,宮前 3 丁目,宮内,宮本,江原,江原新田,江原台 1 丁目,江原台 2 丁目,高岡,高崎,最上町,坂戸,山王 1 丁目,山王 2 丁目,山崎,寺崎,七曲,樹木町,春路 1 丁目,春路 2 丁目,将門町,小篠塚,小竹,上座,上志津,上志津原,上勝田,上代,上別所,城,城内町,新臼井田,新町,神門,生谷,西御門,西志津 1 丁目,西志津 2 丁目,西志津 3 丁目,西志津 4 丁目,西志津 5 丁目,西志津 6 丁目,西志津 7 丁目,西志津 8 丁目,青菅,石川,先崎,千成 1 丁目,千成 2 丁目,千成 3 丁目,染井野 1 丁目,染井野 2 丁目,染井野 3 丁目,染井野 4 丁目,染井野 5 丁目,染井野 6 丁目,染井野 7 丁目,太田,大佐倉,大崎台 1 丁目,大崎台 2 丁目,大崎台 3 丁目,大崎台 4 丁目,大崎台 5 丁目,大作 1 丁目,大作 2 丁目,大篠塚,大蛇町,中志津 1 丁目,中志津 2 丁目,中志津 3 丁目,中志津 4 丁目,中志津 5 丁目,中志津 6 丁目,中志津 7 丁目,中尾余町,長熊,直弥,坪山新田,鐮木仲田町,鐮木町,鐮木町 1 丁目,鐮木町 2 丁目,天辺,田町,土浮,藤治台,藤沢町,内田,鍋山町,南ユーカリが丘,南臼井台,馬渡,萩山新田,萩山新田干拓,白銀 1 丁目,白銀 2 丁目,白銀 3 丁目,白銀 4 丁目,八幡台 1 丁目,八幡台 2 丁目,八幡台 3 丁目,八木,畔田,飯重,飯塚,飯田,飯野,飯野町,表町 1 丁目,表町 2 丁目,表町 3 丁目,表町 4 丁目,並木町,米戸,本町,木野子,野狐台町,弥勒町,裏新町,六崎</p> |
| 八千代市 | <p>ゆりのき台 1 丁目,ゆりのき台 2 丁目,ゆりのき台 3 丁目,ゆりのき台 4 丁目,ゆりのき台 5 丁目,ゆりのき台 6 丁目,ゆりのき台 7 丁目,ゆりのき台 8 丁目,下高野,下市場 1 丁目,下市場 2 丁目,萱田,萱田町,吉橋,桑橋,桑納,佐山,勝田台 1 丁目,勝田台 7 丁目,勝田台南 1 丁目,小池,上高野,真木野,神久保,神野,村上,村上団地,大学町 1 丁目,大学町 2 丁目,大学町 3 丁目,大学町 4 丁目,大学町 5 丁目,大学町 6 丁目,大和田新田,島田,島田台,麦丸,平戸,米本,米本団地,保品,緑が丘 1 丁目,緑が丘 2 丁目,緑が丘 3 丁目,緑が丘 4 丁目,緑が丘 5 丁目,<村上南 1 丁目,村上南 2 丁目,村上南 3 丁目,村上南 4 丁目,村上南 5 丁目(以上旧辺田前土地区画整理事業地内)>,<勝田台北 1 丁目,勝田台北 2 丁目,勝田台北 3 丁目(以上旧村上,勝田,下市場の一部)></p> |
| 鎌ケ谷市 | <p>鎌ケ谷 1 丁目,鎌ケ谷 2 丁目,鎌ケ谷 3 丁目,鎌ケ谷 4 丁目,鎌ケ谷 5 丁目,鎌ケ谷 6 丁目,鎌ケ谷 7 丁目,鎌ケ谷 8 丁目,東初富 1 丁目,東初富 2 丁目,東初富 3 丁目,東初富 4 丁目,東初富 5 丁目,東初富 6 丁目,丸山 1 丁目,丸山 2 丁目,東鎌ケ谷 1 丁目,東鎌ケ谷 2 丁目,東鎌ケ谷 3 丁目,右京塚</p> |
| 四街道市 | <p>さちが丘 1 丁目,さちが丘 2 丁目,つくし座 1 丁目,つくし座 2 丁目,つくし座 3 丁目,みそら 1 丁目,みそら 2 丁目,みそら 3 丁目,みそら 4 丁目,みのり町,めいわ 1 丁目,めいわ 2 丁目,めいわ 3 丁目,めいわ 4 丁目,めいわ 5 丁目,旭ヶ丘 1 丁目,旭ヶ丘 2 丁目,旭ヶ丘 3 丁目,旭ヶ丘 4 丁目,旭ヶ丘 5 丁目,萱橋,亀崎,吉岡,栗山,山梨,四街道,四街道 1 丁目,四街道 2 丁目,四街道 3 丁目,鹿渡,中央,小名木,上野,成山,千代田 1 丁目,千代田 2 丁目,千代田 3 丁目,千代田 4 丁目,千代田 5 丁目,大日,鷹の台 1 丁目,鷹の台 2 丁目,鷹の台 3 丁目,鷹の台 4 丁目,池花 1 丁目,池花 2 丁目,中台,中野,長岡,内黒田,南波佐間,美しが丘 1 丁目,美しが丘 2 丁目,美しが丘 3 丁目,物井,もねの里 2 丁目,もねの里 3 丁目,和田,和良比</p> |
| 八街市 | <p>みどり台,榎戸,岡田,沖,雁丸,希望が丘,吉倉,根古谷,砂,山田台,四木,小谷流,上砂,勢田,泉台,大関,大谷流,滝台,朝日,東吉田,八街い,八街ろ,八街は,八街に,八街ほ,八街へ,富山,文違,用草</p> |

| 市区町村 | 丁字 |
|------|--|
| 印西市 | 浦幡新田,結縁寺,原2丁目,原3丁目,原4丁目,原山1丁目,原山2丁目,原山3丁目,戸神,戸神台,高花1丁目,高花2丁目,高花3丁目,高花4丁目,高花5丁目,高花6丁目,高西新田,小倉台1丁目,小倉台2丁目,小倉台3丁目,小林,小林浅間1丁目,小林浅間2丁目,小林浅間3丁目,小林大門下1丁目,小林大門下2丁目,小林大門下3丁目,小林北1丁目,小林北2丁目,小林北3丁目,小林北4丁目,小林北5丁目,小林北6丁目,松崎,西の原1丁目,西の原2丁目,西の原3丁目,泉,船尾,草深,多々羅田,竹袋,中央北,内野1丁目,内野2丁目,内野3丁目,武西学園台,平岡,木下,木下東1丁目,木下東2丁目,木下東3丁目,木下東4丁目,木刈4丁目,木刈5丁目,木刈6丁目,鎌苅,岩戸,吉高,吉田,山田,師戸,若萩1丁目,若萩2丁目,若萩3丁目,若萩4丁目,松虫,瀬戸,造谷,大廻,萩原,美瀬1丁目,美瀬2丁目,舞姫1丁目,舞姫2丁目,舞姫3丁目,平賀,平賀学園台1丁目,平賀学園台2丁目,平賀学園台3丁目,安食ト杭,下曾根,角田,笠神,荒野,酒直ト杭,将監,本埜小林,松木,滝,中根,萩埜,物木,竜腹寺 |
| 白井市 | 木,けやき台1丁目,けやき台2丁目,河原子,根,桜台1丁目,桜台2丁目,桜台3丁目,笹塚1丁目,笹塚2丁目,笹塚3丁目,七次台1丁目,七次台2丁目,七次台3丁目,七次台4丁目,十余一,神々廻,清戸,清水口1丁目,清水口2丁目,清水口3丁目,折立,大山口1丁目,大山口2丁目,大松,谷田,池の上1丁目,池の上2丁目,池の上3丁目,中,南山1丁目,南山2丁目,南山3丁目,白井,富士,武西,復,平塚,堀込1丁目,堀込2丁目,堀込3丁目,野口 |
| 富里市 | 御料,高松,七栄,十倉,新橋,新中沢,中沢,美沢,立沢,立沢新田、高野 |
| 酒々井町 | ふじき野1丁目,ふじき野2丁目,ふじき野3丁目,伊篠,伊篠新田,下岩橋,下台,今倉新田,篠山新田,酒々井,上岩橋,上本佐倉,上本佐倉1丁目,中央台1丁目,中央台2丁目,中央台3丁目,中央台4丁目,中川,東酒々井1丁目,東酒々井2丁目,東酒々井3丁目,東酒々井4丁目,東酒々井5丁目,東酒々井6丁目,馬橋,柏木,飯積,尾上,墨,本佐倉 |
| 栄町 | 安食, 安食1丁目, 安食2丁目, 安食3丁目, 須賀, 龍角寺, 酒直, 安食台1丁目, 安食台2丁目, 安食台3丁目, 安食台4丁目, 安食台5丁目, 安食台6丁目, 酒直台1丁目, 酒直台2丁目, 南ヶ丘1丁目, 南ヶ丘2丁目, 西, 布太, 三和, 生板鍋子新田, 布鎌酒直, 和田, 押付, 曾根, 南 |

別 表 2

雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置方法を下表に示します。ただし、設置を行おうとする当該流域市町で基準を設けている場合は、それを優先としてください。

| | 雨水浸透施設及び雨水貯留施設の設置方法 |
|--------------|--|
| 1 設置基準 | <p><雨水浸透施設></p> <p>(1) 雨水浸透マス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨樋ごとに浸透施設を設置 <p>(2) 雨水浸透トレンチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスから側溝又は下水管等への間に設置 <p>(3) 透水性舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場等に設置 <p><雨水貯留施設></p> <p>(4) 雨水貯留タンク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨樋一箇所以上に設置 <p>設置概要図（図-1）参照</p> |
| 2 設置工事 | <p><雨水浸透施設></p> <p>(1) 雨水浸透マス及び雨水浸透トレンチは、できるだけ屋根に降った雨のみが流入する構造で周辺に碎石を敷設</p> <p>(2) 雨水浸透マスの蓋は、密閉蓋（穴の開いていない蓋）を使用</p> <p><雨水貯留施設></p> <p>(3) 雨水貯留タンクは、できるだけ屋根に降った雨のみが流入する構造</p> |
| 3 浸透施設設置禁止区域 | <p>(1) 急傾斜地崩壊危険区域</p> <p>(2) 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域</p> <p>(3) 2m以上の急傾斜面（30°以上）に隣接している宅地において、斜面から高さの2倍以内の区域</p> <p>(4) その他、各流域市町で設置を禁止している区域</p> <p>浸透施設設置禁止区域図（図-2）参照</p> |

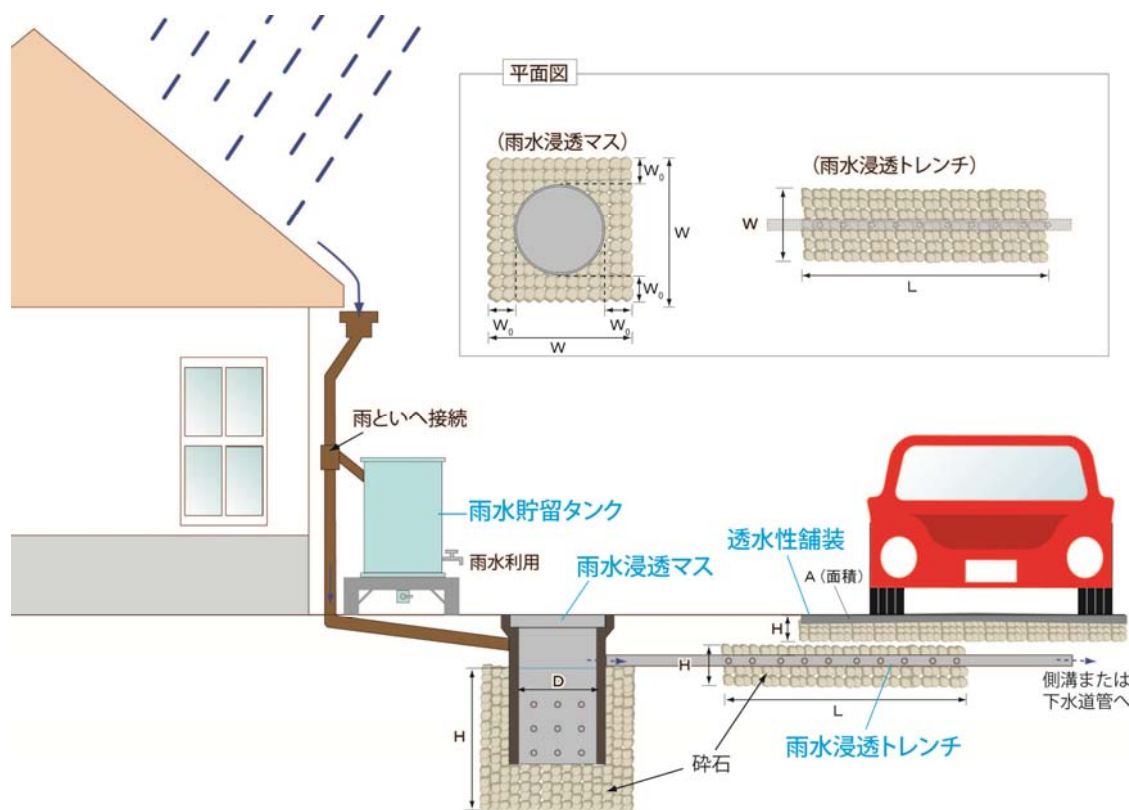


図-1 設置概要図

<参考：浸透施設の規格>

表 1 想定降雨量と屋根面積等に対する浸透施設の参考規格

| 屋根面積 (A) | 雨水浸透マス | | | 雨水浸透トレンチ | | 透水性舗装 | |
|-------------|--------------------------|---------------------------|---|-------------------------|---|-----------|---|
| | 施設幅 ^{※1} (W) | マス直径 ^{※1} (D) | 浸透量 ^{※2} (影響係数考慮) (m³/h/個) | 延長 ^{※1} (L) | 浸透量 ^{※2} (影響係数考慮) (m³/h) | 面積 (R) | 浸透量 ^{※2} (影響係数考慮) (m³/h) |
| m² | m | m | m³/h/個 | m | m³/h | m² | m³/h |
| 10 | 0.3 | 0.1 | 0.24 | 1 | 0.23 | 10 | 0.10 |
| 15 | 0.4 | 0.2 | 0.30 | 1.5 | 0.35 | 15 | 0.16 |
| 20 | 0.6 | 0.4 | 0.42 | 2 | 0.47 | 20 | 0.21 |
| 25 | 0.8 | 0.6 | 0.54 | 2.5 | 0.59 | 25 | 0.26 |
| 30 | 0.9 | 0.7 | 0.60 | 3 | 0.70 | 30 | 0.31 |

※1 想定降雨量 (20mm/h) に対して、表 2 に示す係数を用いて下記の浸透施設の算出式で算出した参考値

※2 上記 1 で算出した浸透施設に対して、表 2 に示す係数を用いて下記の浸透量の算出式で算出した参考値

表 2 各種設定係数

<浸透施設の算出式>

※設定条件

屋根面積 (m²) = A

想定降雨量 (mm/hr) = R

$$\text{雨水浸透マス直径 (m) } D = \frac{(R/1000 \cdot A) / (C \cdot K_o) - (bH^2 + dH + f)}{(aH^2 + cH + e)} - 2 \cdot W_0$$

$$\text{雨水浸透トレンチ延長 (m) } L = \frac{(R/1000 \cdot A)}{C \cdot K_o \cdot (aH + bW + c)}$$

<浸透量の算出式>

$$\text{雨水浸透マス浸透量 (m³/h/個)} = K_o \cdot ((aW + b) \cdot H^2 + (cW + d) \cdot H + (eW + f)) \cdot C$$

$$\text{雨水浸透トレンチ浸透量 (m³/h)} = K_o \cdot (aH + (bW + c)) \cdot C \cdot L$$

$$\text{透水性舗装浸透量 (m³/h)} = K_o \cdot (aH + b) \cdot C \cdot A$$

出典：雨水浸透施設技術指針（案）を元に作成

| 係数名 | | 単位 | 係数 | | | 備考 |
|----------|----------|-----|---------------------|----------|-------|--------------------------------|
| | | | 雨水浸透マス | 雨水浸透トレンチ | 透水性舗装 | |
| 飽和透水係数 | Ko | m/h | 0.1 | | | 流域での既往調査結果 [※] |
| 影響係数 | C | — | 0.648 | 0.810 | 0.081 | K1*K2* α |
| 目詰まり | K1 | — | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 千葉県における宅地開発等に伴う雨水排水貯留浸透計画策定の手引 |
| 地下水位 | K2 | — | 0.9 | 0.9 | 0.9 | |
| 安全率 | α | — | 0.8 | 1.0 | 0.1 | |
| 比浸透量算出係数 | a | — | 0.120 | 3.093 | 0.014 | 雨水浸透施設技術指針(案) |
| | b | — | 0.985 | 1.34 | 1.287 | |
| | c | — | 7.837 | 0.677 | — | |
| | d | — | 0.82 | — | — | |
| | e | — | 2.858 | — | — | |
| | f | — | -0.283 | — | — | |
| 設計水頭 | H | m | 0.8 | 0.50 | 0.30 | 参考値 |
| 施設幅 | W | m | W ₀ =0.1 | 0.50 | — | 参考値 |

※飽和透水係数は、既往の調査結果等を元に設定した数値であり、地盤や地下水など状況による係数は異なります。

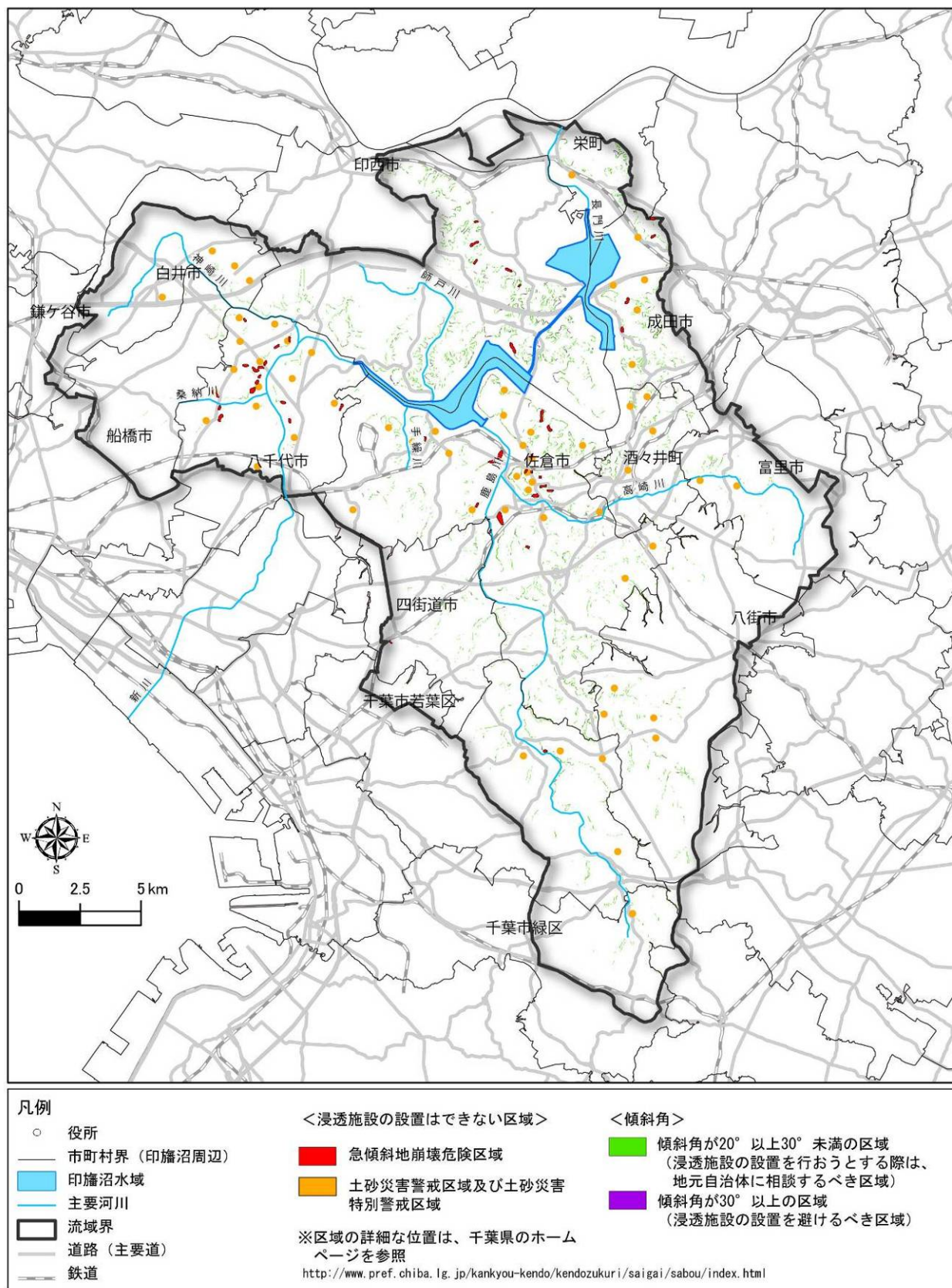


図-2 浸透施設設置禁止区域図¹

※この他にも、浸透施設の設置に適さない区域（土壌汚染が予想される土地等）がある可能性があるため、本図は参考資料として扱うこと。

¹ 急傾斜地崩壊危険区域の指定状況：千葉土木事務所管内 平成22年10月時点 葛南土木事務所管内 平成20年4月時点
 東葛飾土木事務所管内 平成18年10月時点 印旛土木事務所管内 平成21年3月時点
 成田土木事務所管内 平成20年時点

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定状況：2011(平成23)年12月時点

傾斜角：国土地理院 10m メッシュ標高データより、隣接するメッシュとの標高差から最大傾斜角を算出

2010(平成 22)年 2 月 4 日、佐倉市民音楽ホールで第 7 回印旛沼再生行動大会が開催されました。千葉県知事及び流域市町村長は、印旛沼・流域の健全な水循環系を再生し、次世代の子ども達に継承するため、ともに行動していくことを宣言し、「印旛沼再生宣言書」に署名しました。

本ルールはこの宣言に基づく取組の一つです。

「印旛沼再生宣言」

私たちは、水清く、自然豊かで、活力と誇りにあふれる印旛沼とその流域を再生し、次世代に生きる子どもたちに引き継いでいくため、次のことを宣言します。

私たちは、2010 年 1 月に策定された「印旛沼流域水循環健全化計画」で定められた基本理念「恵みの沼をふたたび」のもと、以下の目標を共有します。

- ・良質な飲み水の源 印旛沼・流域
- ・遊び、泳げる 印旛沼・流域
- ・ふるさとの生き物をはぐくむ 印旛沼・流域
- ・大雨でも安心できる 印旛沼・流域
- ・人が集い、人と共生する 印旛沼・流域

さらに、私たちは、緊密な連携を保ち、本計画の目標年次である 2030 年に向け、所定の取り組みを継続して実践します。

2010 年 2 月 4 日

| | |
|---------------------------|--------|
| 千葉県知事 | 舩田 健作 |
| 千葉市長 | 熊谷 俊人 |
| 船橋市長 | 藤代 孝七 |
| 成田市長 | 小泉 一成 |
| 佐倉市長 | 菅 和雄 |
| 八千代市長 | 豊田 俊郎 |
| 鎌ヶ谷市長 | 清水 聖士 |
| 四街道市長 職務代理者 四街道市副市長 | 山本 泰司 |
| 八街市長 | 長谷川 健一 |
| 印西市市長 | 山崎 山洋 |
| 白井市長 | 横山 久雅子 |
| 富里市長 | 相川 堅治 |
| 酒々井町長 | 小坂 泰久 |
| 印旛村長 | 経藤 淳一 |
| 本埜村長 職務代理者 本埜村参事 | 小川 蒼之 |
| 栄町長 | 山崎 孝之 |

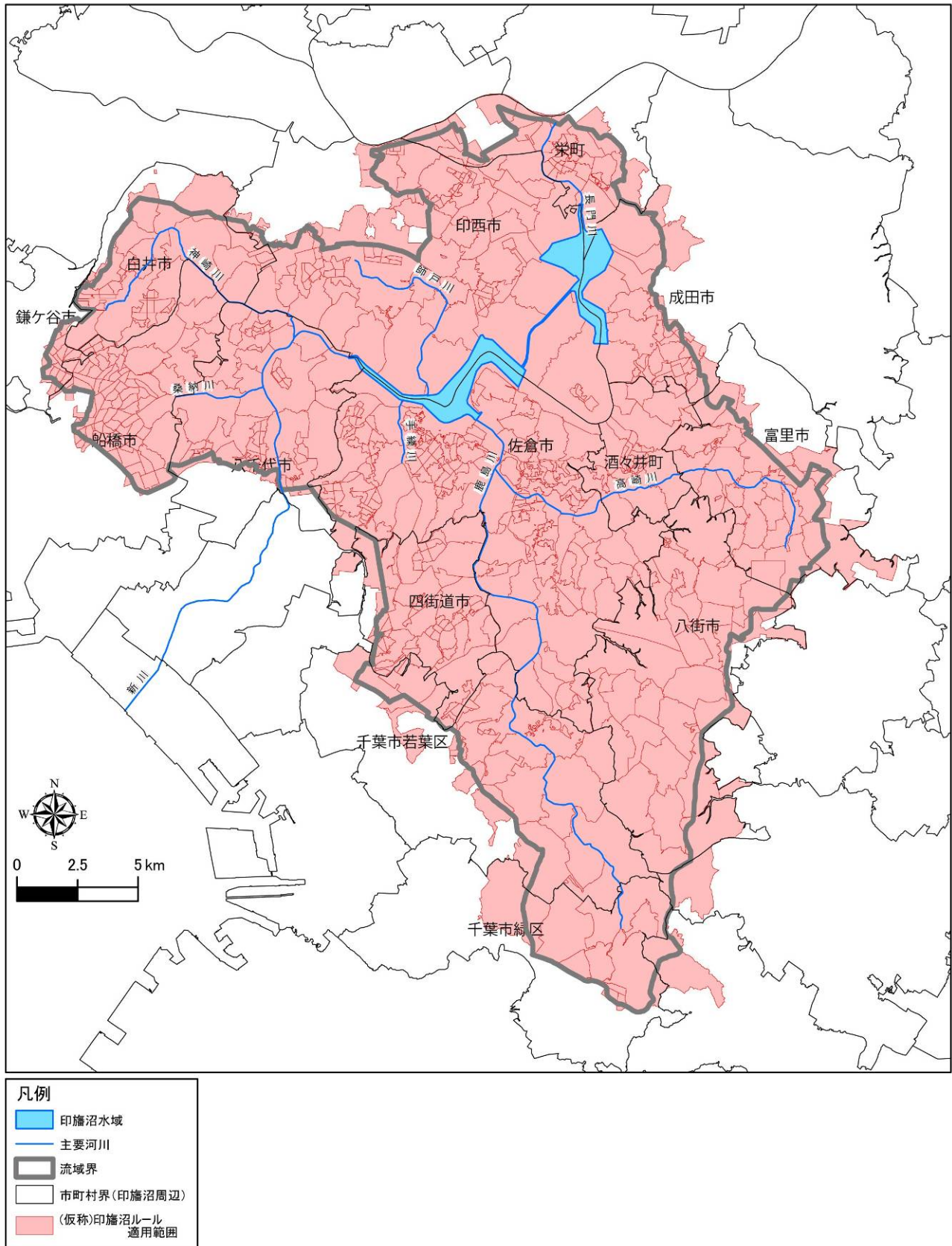
※2010(平成 22)年 3 月 23 日に印西市、印旛村及び本埜村が合併し、印西市となりました。

参 考 資 料 編

| | |
|-------------------------|-----|
| 1. 本ルール適用住所の算出方法..... | P11 |
| 2. 浸透施設設置禁止区域の事例..... | P12 |
| (1) 国・県・社団法人..... | P12 |
| 1) 国土交通省..... | P12 |
| 2) 東京都..... | P13 |
| 3) 社団法人 雨水貯留浸透技術協会..... | P14 |
| (2) 流域市町..... | P15 |
| 1) 千葉市..... | P15 |
| 2) 船橋市..... | P15 |
| 3) 佐倉市..... | P15 |
| 4) 鎌ヶ谷市..... | P16 |
| 5) 八千代市..... | P17 |
| (3) その他..... | P18 |
| 1) 市川市..... | P18 |
| 2) 我孫子市..... | P18 |
| 3) 小金井市..... | P19 |
| 4) 川崎市..... | P20 |

1. 本ルール適用住所の算出方法

- ①2005（平成 17）年度の国勢調査データを使用しました。
- ②印旛沼流域界（事務局作成）と重なる①の住所地を抽出しました。（下図の赤塗）
- ③上記②を各市町で修正したものを別表 1（本ルールの適用範囲）としました。



2. 浸透施設設置禁止区域の事例

浸透施設設置禁止区域の参考として各自治体の設定状況を紹介します。

(1) 国・県・社団法人

1) 国土交通省

法令等名称：雨水浸透施設の整備促進に関する手引き（案） 平成 22 年 4 月

国土交通省 都市・地域整備局 下水道部

国土交通省 河川局 治水課

指定状況：浸透適地・不適地の判断目安が出されている。

(2) 設置対象区域（浸透適地）の設定

雨水浸透施設は、地下水の位置、表層土壌の透水性、斜面崩壊及び地下水汚染の誘発等により、その設置対象区域が限定されていることから、浸透可能な区域を設定して設置する。

浸透適地・不適地を判断する目安の例を表 4-2 に示す。また、地方公共団体または総合治水特定河川流域で、浸透能力マップが作成されている場合はこれを活用する。

表 4-2 浸透適地・不適地の判断の目安（例）

| 判断条件 | 内 容 |
|----------|--|
| 地形・地質 | 適 地：台地・段丘・扇状地・自然堤防・丘陵地等 不適地：沖積低地・盛土等人工改変地・切土面・地滑り防止区域・急傾斜崩壊危険区域、土砂災害警戒区域等 |
| 土質 | 透水性の良くない土質は避ける。 土壌の飽和透水係数が 10^{-7}m/sec より小さい場合は不適。 間隙率が 10% 以下の場合は不適。 粒度分布で粘土分が 40% 以上の場合は不適。 |
| 地下水位 | 地下水位の高い地域は、浸透能力が減少するので不適。 地下水位と浸透施設底面との距離が 0.5m 以上必要。 |
| 周辺環境への影響 | 土壌汚染区域で、浸透によって汚染物質の拡散、汚染の予想される区域は除外。 |

2) 東京都

法令等名称：東京都雨水貯留・浸透施設技術指針 平成 21（2009）年 2 月

東京都総合治水対策協議会

指定状況：浸透施設の設計で、設置に関する留意事項が示されている。

(3) 浸透施設の設計

3-1 一般

浸透施設の計画においては用地の地形・地質条件からみて不適地および規制地は避けること。また施設の機能劣化をもたらす目詰まり防止のため、原則として屋根上の雨水を集水して処理することとし、土砂を含む恐れのある地表上の雨水排水や生活排水の流入を避けること。さらに、ゴミ除けのためのフィルターの設置や土砂の除去等の維持・管理には十分留意する必要がある。また、施設の配置上近傍の建物等の既設構造物や地下埋設物に対し支障のないようかつ、のり面、擁壁等の構造物の安全性を損なうことがないよう留意する。

(解説)

- ・浸透施設は相互干渉するので、1.5m 以上離して設置する。
- ・盛土地形の場合には浸透施設は現地盤高以下に設置する。
- ・浸透施設の設置場所は建物等への影響を考慮して、基礎から 30cm 以上あるいは浸透施設の掘削深に相当する距離を離して設置する。又、地下埋設物がある場合には地下埋設物から原則として 30cm 以上離して設置する。(図 3.3.1)

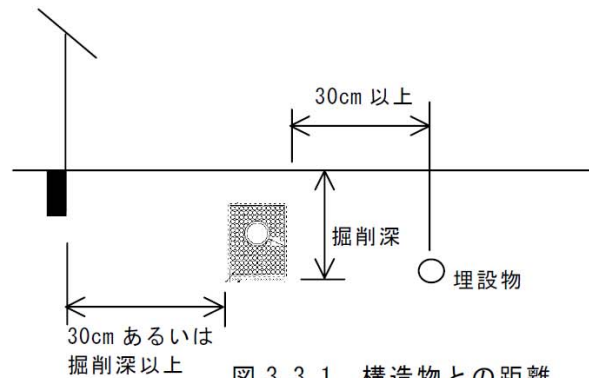


図 3.3.1 構造物との距離

- ・雨水浸透により、現状の法面や擁壁の安全性が損なわれるような場所、すなわち図 3.3.2 に示すような傾斜地近傍箇所には浸透施設の設置を禁止する。

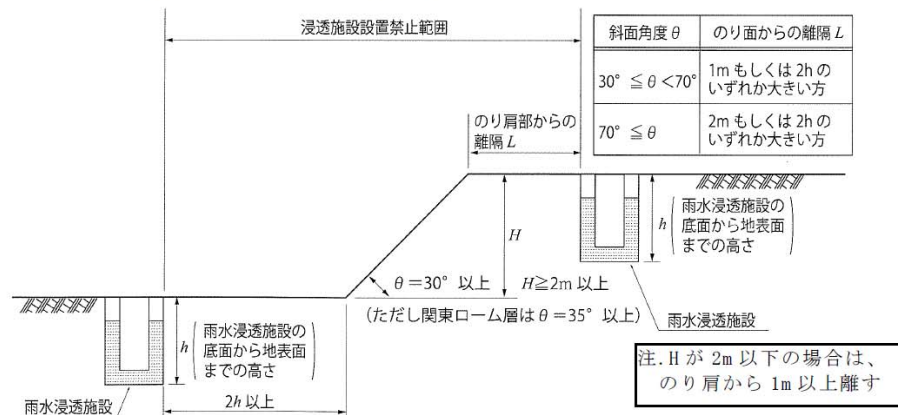


図 3.3.2 傾斜地近傍箇所

3) 社団法人 雨水貯留浸透技術協会

法令等名称：戸建住宅における雨水貯留浸透施設設置マニュアル 平成 18 年 3 月
指定状況：斜面近傍の浸透施設設置禁止範囲を指定している。

○斜面近傍の浸透施設設置禁止範囲

浸透施設の設置によってのり面崩壊を引き起こす恐れのある下記の地域は浸透施設設置の不適地である。

- ・切土面で第三紀砂泥岩
- ・法令指定地（急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、土砂災害警戒区域 等）
- ・ハザードマップ（地すべり・土石流・斜面崩壊危険地域図 等）に記載された土砂災害危険箇所

また、上記の不適地以外であっても次に掲げる地域の斜面近傍に浸透施設を設置する場合は、浸透施設設置に伴う雨水浸透を考慮した斜面の安定性について事前に十分な検討を実施し、浸透施設設置の可否を判断するものとする。

- ・人工改変地
- ・切土斜面（特に不透水層を含む互層地盤の場合や地層傾斜等に注意する）とその周辺
- ・盛土地盤の端部斜面部分（擁壁等設置箇所も含む）とその周辺

斜面の近傍部における浸透施設設置禁止範囲の目安を図-15に示す。この目安は、斜面高 H が2m以上且つ斜面角度 $\theta = 30^\circ$ 以上（関東ロームは $\theta = 35^\circ$ 以上）の場合に適用する。なお、斜面高が2m以下の場合は、のり肩部から1m以上離すことを目安とする。

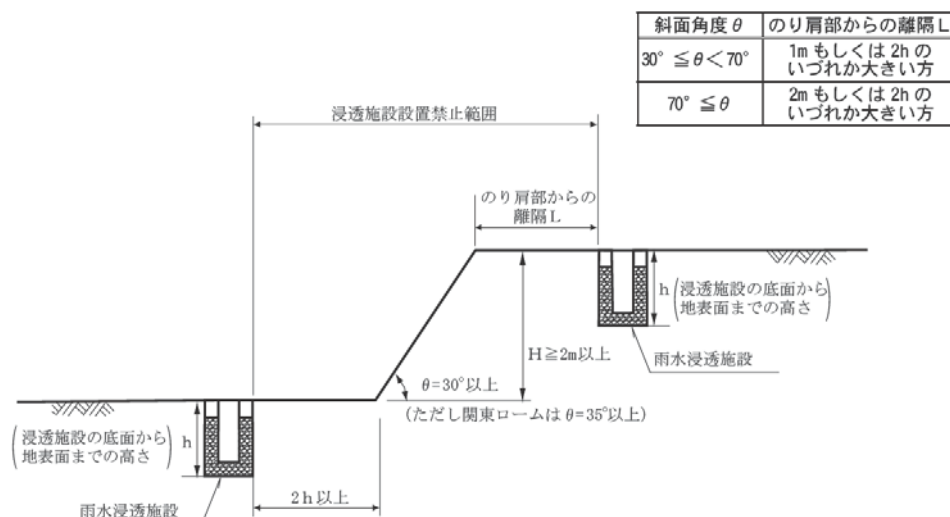


図-15 斜面近傍における浸透施設設置禁止範囲の目安

(2) 流城市町

1) 千葉市

法令等名称：雨水貯留槽と雨水浸透ます設置補助制度について

指定状況：雨水浸透ます設置ができない場所及び適さない場所が指定されている。

(1) 設置できない場所

- ア 建築物、隣地境界から50cm以内の区域
- イ 斜面付近は、傾斜度35度以上で傾斜地の高さが2m以上の土地は、のり尻から高さの3倍以内の区域
- ウ 擁護されたのり面は、のり尻から高さの1.5倍の区域
- エ 工場跡地や埋め立て地等で土壌汚染があり、地下水の汚染が予想される場所
- オ 急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域

(2) 設置に適さない土地

- ア 地下水位の高い低地
- イ 透水性のあまり期待できない土質の区域

2) 船橋市

法令等名称：船橋市雨水浸透枳設置指導基準

指定状況：適用除外の指定をしている。

(適用除外)

第8条 適用区域のうち次に掲げるものについては、これを除外する。

- 1 雨水調整施設が設置された場合
- 2 崖上及び擁壁等により、1メートル以上の段差がある場合
- 3 浸透効果が見込まれない場合
- 4 その他市長が特に認めた場合

3) 佐倉市

法令等名称：雨水貯留浸透施設設置基準

指定状況：設置禁止区域等が指定されている。

(設置禁止区域等)

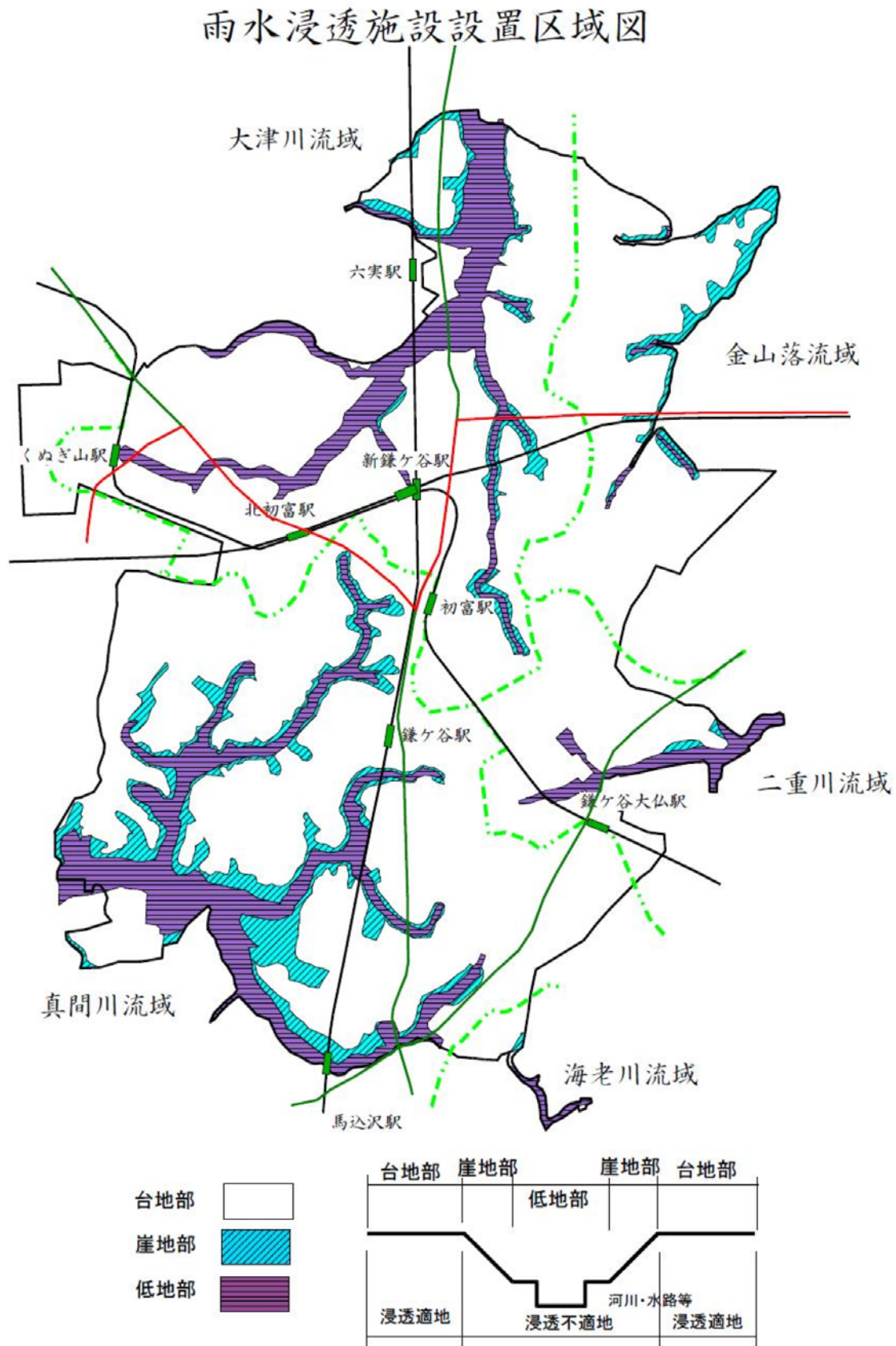
第3条 雨水浸透施設の設置禁止区域は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 傾斜度30度以上で傾斜地の高さが2メートル以上の斜面付近における斜面並びに法肩及び法尻から高さの2倍以内の区域
- (2) 工場跡地、埋立地等で土壌汚染があり、地下水の汚染が予想される場所
- (3) 急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域及びその他法令により浸透施設の設置が禁止されている区域

4) 鎌ヶ谷市

法令等名称：雨水浸透枡の設置をお願いします。

指定状況：設置が不適切な箇所を挙げ、注意を促している。



※ 区域分けは参考であるため、詳細については道路河川建設課治水係までお問い合わせ下さい。

5) 八千代市

法令等名称：八千代市雨水排水施設整備指導指針

指定状況：雨水調整施設の設置区域等が指定されている。

第3条 雨水調整施設の設置にかかる基準等は、次のとおりとする。

- (1) 市街化区域においては開発区域面積が0.05ヘクタール以上の開発事業、市街化調整区域においては都市計画法第29条又は同法第43条の許可を要するもの（ただし、自己の居住の用に供する住宅の建築又は0.1ヘクタール未満の自己の業務の用に供する建築物の建築を目的とするものは除く。）について、流末施設及び雨水排水計画の状況により流出抑制を必要とする場合は、市と協議の上、雨水調整施設（事業者等の管理する開発事業区域内に雨水を貯留できる施設）を設置するものとする。

ただし、間地貯留型雨水調整施設での雨水調整は、共同住宅や商業施設等事業区域の一角に建築物等が集中するような開発行為を除き原則としてできないものとする。

また、浸透型雨水調整施設を設置する場合は、次の事項に配慮すること。

- ① 社団法人雨水貯留浸透技術協会発行の「雨水浸透施設設置技術指針〔案〕」によること。
- ② 次の区域には、原則として設置しないこと。
 - ア 土壤汚染区域及び地下水汚染区域
 - イ 地下水位の高い区域その他浸透効果の得られない区域
 - ウ 急傾斜地崩壊危険区域や地すべり防止区域等法令指定区域
 - エ 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域
 - オ その他の傾斜地及びその近接区域（別図参照）
 - カ その他事業区域及び周辺地域の地盤の安定性を損なうおそれのある区域
- ③ 浄化槽処理水は浸透させないこと。

(3) その他

1) 市川市

法令等名称：雨水調整施設整備に関する技術指針

指定状況：施設の適用区域を指定し、そこで適用除外についても指定している。

ウ 施設の適用区域

北部ローム台地と中部、南部の砂質土分布地域を浸透施設設置適地（別紙「浸透施設設置適地図」参照）とし、適用区域とする。

なお、地下水位と地表との距離が1.3m未満である場合を適用除外とし、また、斜面崩壊を起こす恐れのある傾斜地および工場跡地や埋立地等で土壌の汚染物質を拡散、地下水を汚染する恐れのある区域を設置禁止区域とする。

| 町 名(五十音順) |
|--|
| ○北部ローム台地 市川(四)、稲越町、大野町、大町、鬼越(一)、柏井町、北方(一・三)、北国分、国府台、国分(二・三・四・五・六・七)、下貝塚、須和田、曾谷(一・二・三・四・五・八)、高石神、中国分、中山、奉免町、北方町四、堀之内(一・二・三・四)、真間(四・五)、宮久保(二・四・六)、本北方(三)、若宮の各一部 ○中部、南部砂質土分布地域 相之川(一・二)、新井(一・二)、伊勢宿、市川(一・二・三)、市川南、大洲(三)、大和田(二)、押切、鬼越(二)、欠真間(一)、河原、香取(一)、北方(二)、高谷(一・二)、下新宿、新田(一・五)、島尻、菅野(一・二・三・四)、須和田(一)、関ヶ島、田尻(二・四・五)、稲荷木、原木(一・二・三)、東菅野(一・二・三・四)、平田(一・二)、広尾(一・二)、二俣(二)、本行徳、本塩、真間(一・二・三)、湊、湊新田、妙典(一・三)、八幡の各一部 |

2) 我孫子市

法令等名称：我孫子市雨水抑制施設設置補助金交付要綱

指定状況：適用除外の指定がされている。

（適用除外）

第5条 第3条第3項及び前条の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、雨水浸透施設の設置を要しない。

- (1) 我孫子市開発等に伴う排水計画技術基準（雨水編）に基づき雨水流出抑制対策が講じられている場合
- (2) 当該敷地の雨水浸透効果が見込めないと市長が認めた場合
- (3) 当該敷地に雨水抑制施設を設置することにより、周辺のがけ、擁壁等に悪影響を及ぼす可能性があると市長が認めた場合
- (4) その他雨水抑制施設を設置することが不適當であると市長が認めた場合

3) 小金井市

法令等名称：雨水浸透施設の技術指導基準

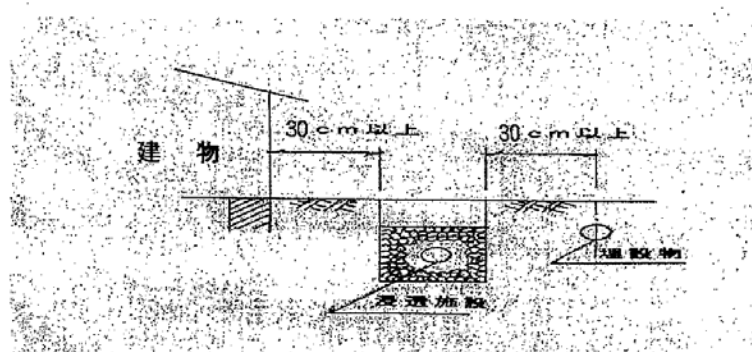
指定状況：設置禁止区域が指定されている。

2 設置禁止区域

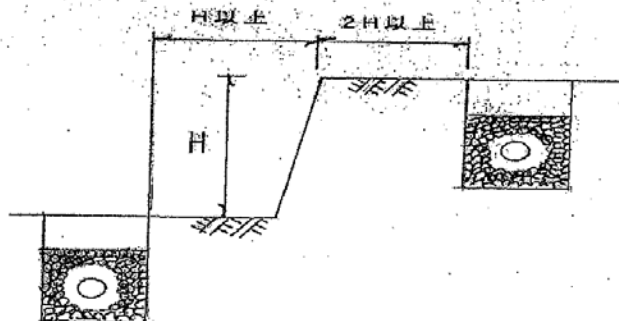
- (1) 宅地造成等規制法（昭和36年法律第191号）に係る区域
- (2) 急傾斜地
- (3) 法面の安全性が損なわれる区域
- (4) 自然環境を害するおそれがある区域

（標準位置）

- (1) 浸透施設は、原則として図のとおり構造物から30cm以上離すこと。



- (2) 人工法面からは、図のと通りの距離を確保すること。



4) 川崎市

法令等名称：雨水流出抑制施設技術指針 平成 22 年 4 月改定

川崎市建設緑政局

指定状況：浸透適用外区域が指定されている。

(浸透適用外区域)

第 3－3 条

以下の場所には雨水浸透施設を設置することができません。

- (1) 急傾斜地崩壊危険区域及び土砂災害危険箇所
- (2) 宅地造成等規制法に基づく許可を要する場合
- (3) 地下水位が非常に高い場合（地表面から 1.5 m 以浅の場合）
- (4) 下水排水設備の能力が足りない、または整備しない場合
- (5) 近年、盛土造成した地盤
- (6) 設置する宅内の排水設備が分流化されていない場合
- (7) 水道水源の指定地域（ただし、屋根排水のみを集水することが確認された場合は設置可とします。）
- (8) 隣接地その他の居住及び自然環境を害する恐れがある場合
- (9) 工場跡地、廃棄物の埋立地等で、土壌汚染が予想される場合
- (10) 使用に際し、事業主（地権者）の承認が得られない場合
- (11) 非浸透施設（コンクリート構造物等）が地下にあり浸透しない場合
- (12) 隣接地等の構造物に対して浸透による影響が予想される場合
- (13) 2 m 以上の急傾斜面（30° 以上）に隣接している宅地において、斜面から高さの 2 倍以内の場所
- (14) 練積み擁壁を有する斜面において、擁壁高さの 2 倍以内の場所
- (15) コンクリート造擁壁等において、擁壁高さの 2 倍以内の場所